

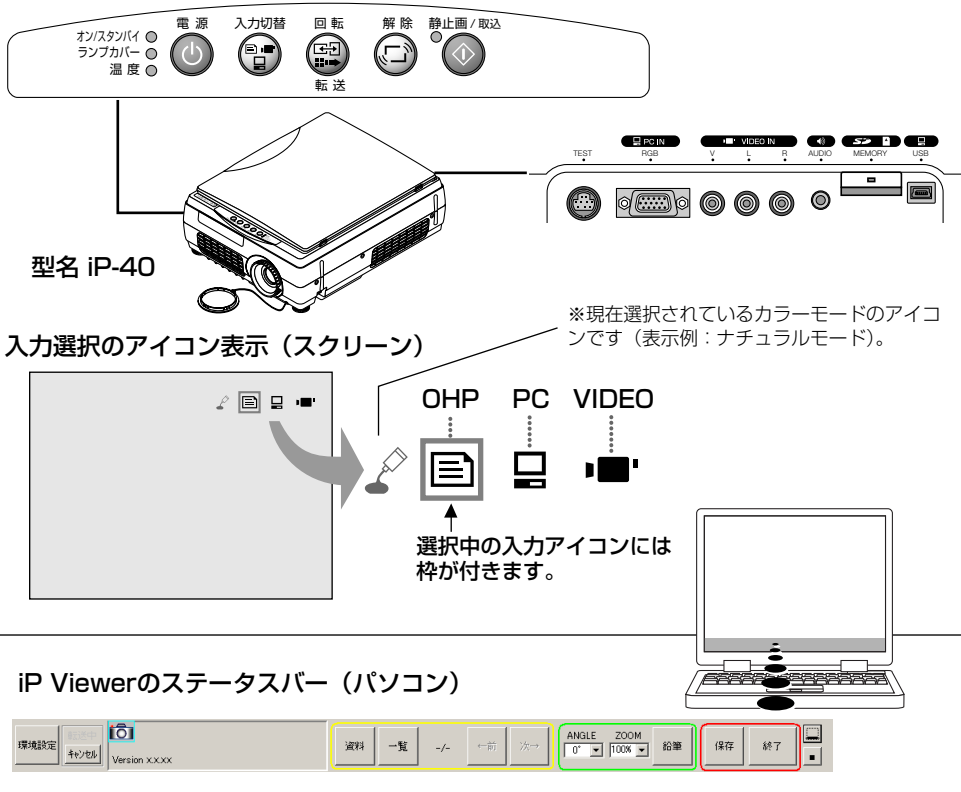
iP Viewerソフトウェア クイックリファレンス

Version 2.3.XX (Xは任意の数字)

インテリジェントプロジェクタのiP Viewerソフトウェアの基本的な使いかたを記載しています。詳細については、iP Viewer取扱説明書をご覧ください。

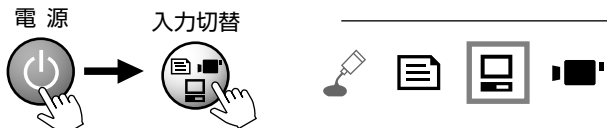
以降インテリジェントプロジェクタはプロジェクタ、iP ViewerソフトウェアをiP Viewerと略します。

プロジェクタの各操作ボタンと接続端子



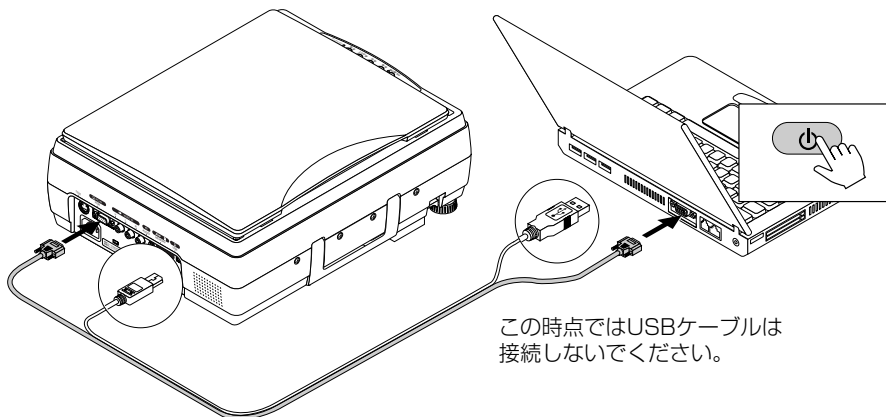
ステップ1 接続とiP Viewerの起動

1 プロジェクタの電源を入れ、[PC] に切り替える。



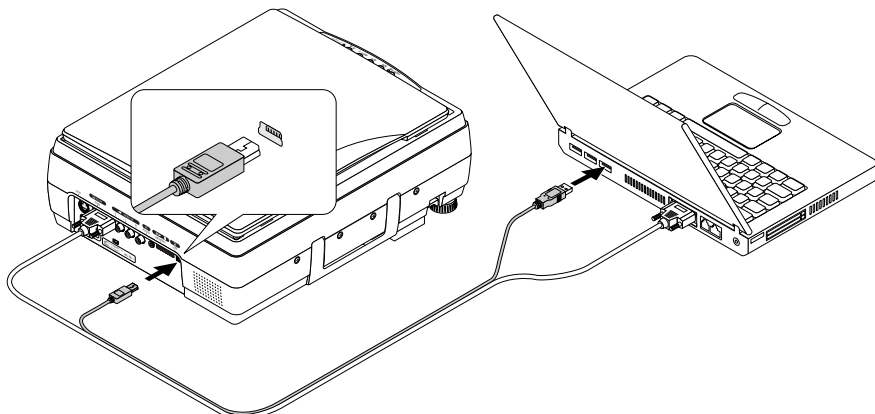
2 RGBケーブルを接続し、パソコンを立ち上げる。

プロジェクタ側とパソコン側でUSBコネクタの形状が異なりますので注意してください。プロジェクタにパソコンの画面が出ているかを確認してください。



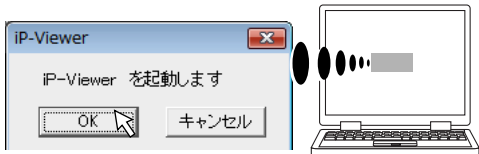
3 USBケーブルを接続する。

USB端子の向きに合わせて差し込んでください。



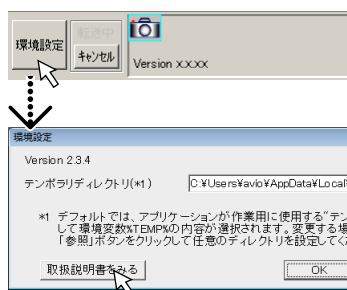
4 「iP Viewerを起動します」の画面を表示しますので [OK] ボタンをクリックする。

iP Viewerが起動します。



5 iP Viewer 取扱説明書はiP Viewerの [環境設定] 画面の [取扱説明書をみる] ボタンをクリックして見ることができます。

iP Viewerは、パソコンにはインストールされません。プロジェクタとUSBケーブルで接続することで起動します。



ステップ2 パソコンと接続してできること

OHP画面、パソコン画面、ファイルの登録、投写や取り込み資料の加工等が行えます。

●OHP投写画面の登録 (スキャナ機能)

A4サイズまでの資料が登録できます。

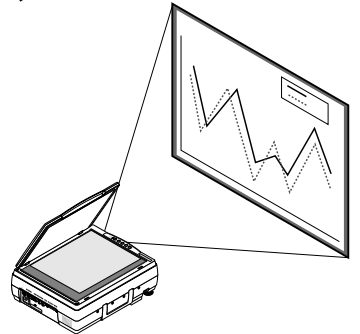
《プロジェクタ側の操作》

(一旦プロジェクタのメモリに保存します。SDメモリーカードが挿されていないことを確認してください。)

1 入力を [OHP] に切り替える。



2 資料をガラス面にのせ、取り込み位置を調整する。



3 [静止画/取込] ボタンを押す。

取込中は投写画面上に“USB”を表示します。“USB”の表示が消えれば、次の資料の取り込みができます。

複数保存するには、2、3の手順を繰り返します。



4 入力を [PC] に切り替え [転送] ボタンを押すか、または入力が [OHP] のときは、[転送] ボタンを長押しします。

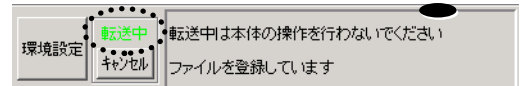
パソコンへの転送が始まります。



《パソコン側の操作》

5 “転送中” が緑色表示する。

完了すると“転送中”の表示が消え (薄いグレイ)、赤字で“プロジェクタからのファイル転送完了しました”のメッセージが表示されます。



6 転送データを確認するには [一覧] ボタンをクリックして、一覧画面を表示させる。

もどる場合は、[閉じる] ボタンをクリックします。表示したい資料をクリックすると全画面表示されます。

ご注意：一覧表示中はメニューバーのボタンは動作しません。

ご参考：iP-40にてSDメモリーカードに保存した画像もiP Viewerで記憶することができます。(詳細は取扱説明書を参照願います。)



●PC画面の保存 (画面キャプチャ機能)

パソコンで表示しているエクセル、ワード、ブラウザ等の画面をキャプチャして登録します。

1 ステータスバーの [最小化] ボタンをクリックしてiP Viewerを最小化する。



2 アプリケーションを起動して保存したい画面を表示させる。



3 [画面キャプチャツール] ボタンをクリックしてキャプチャする画面を一番前に表示させる。

カメラアイコン ボタンをクリックすること後ろのウィンドウが一番前に出ます。



4 [取込] ボタンをクリックして登録する。

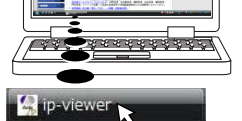
カメラアイコン ボタンをクリックして、iP Viewer画面を前に出します。キャプチャした資料は一覧画面で (カメラ) マークが付きます。



5 再びiP Viewerを表示させる。

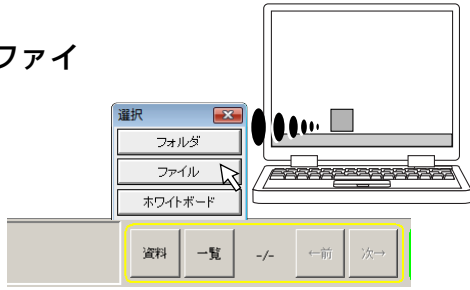
タスクバーの iP-viewer をクリックします。

・iP Viewerでキャプチャして保存したパソコンの画面はハードコピーした画面です。この画面でアプリケーションの操作は行えません。操作を行う場合はカメラアイコン ボタンをクリックしてアプリケーション画面に戻してください。

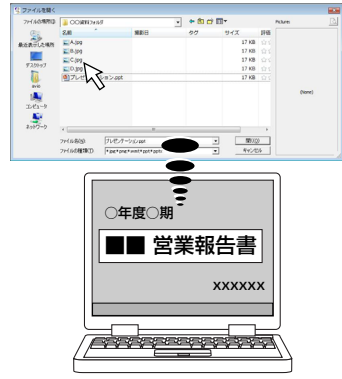


●画像ファイル、PowerPointファイルの取り込み

- 1 [資料] ボタンをクリックし、[ファイル] ボタンをクリックする。



- 2 画像ファイルやPowerPointファイルを選択し[開く] ボタンをクリックする。
PowerPointファイルは、自動でJPEG形式に変換され、最初のページを投写します。

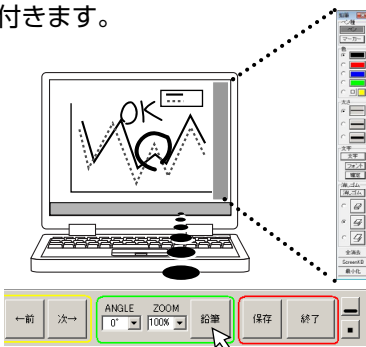


●取り込みデータの加工

鉛筆ツールを使用して登録した資料に線や文字を書き加える、向きを変える、大きさを変える、画像を移動する(投写画面より大きな画像の場合)ことができます。資料を加工(表示)すると加工後の画像が編集画像一覧に登録されます。元資料(原画)は、取込画像一覧に登録されています。一覧表示ではキャプチャした資料にカメラマークが付きます。

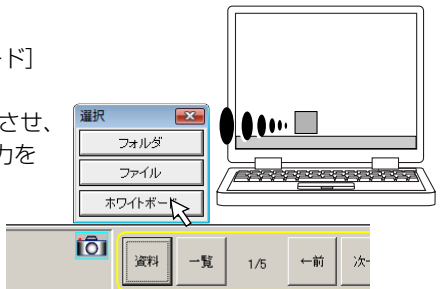
《投写資料に書き加える》

[鉛筆] ボタンをクリックして、鉛筆ツールを表示させ、ペンの太さや色を選択して描画します。文字をキーボードから入力することもできます。使いかたはiP Viewerの取扱説明書をご覧ください。



《ホワイトボードを表示し加工する》

[資料] をクリックし、選択画面の[ホワイトボード]を選択すると白画面を表示します。
[鉛筆] ボタンをクリックして、鉛筆ツールを表示させ、鉛筆ツールを使って文字や線を描いたり、文字入力を行います。



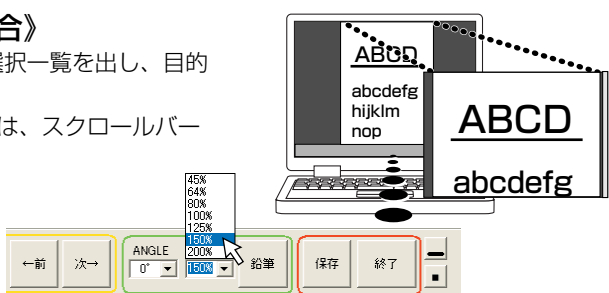
《資料の向きを変える場合》

ANGLEの[▼]をクリックして選択一覧を出し、目的の角度をクリックします。



《資料の大きさを変える場合》

ZOOMの[▼]をクリックして選択一覧を出し、目的の拡大率をクリックします。
投写画面より大きく拡大した資料は、スクロールバーで位置の移動ができます。



ステップ3 プレゼンテーションの実施

プレゼンテーションを実際に行う場合の操作の流れと要点を記載しています。

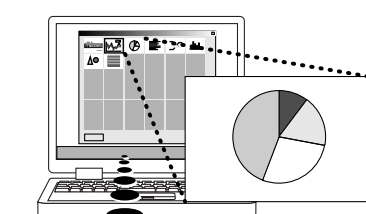
- 1 資料の登録を始めに行う。

登録には3通りあります。

- ・PowerPointファイル資料の場合：“ステップ2”の“画像ファイル、PowerPointファイルの取り込み”を参照
- ・プロジェクトのOHPから取り込んだ画像を資料にする場合：“ステップ2”の“OHP投写画面の保存(スキャナ機能)”を参照
- ・PowerPoint以外のアプリケーションを資料にする場合：“ステップ2”の“PC画面の保存(画面キャプチャ機能)”を参照

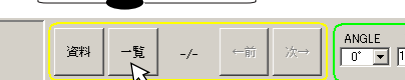
- 2 一覧表示から資料を選んで投写する。

[一覧] ボタンをクリックして一覧画面(サムネイル)を表示させ、目的の資料をクリックします。



- 3 ページを切り替える。

[次→] または [←前] ボタンをクリックして切り替えます。

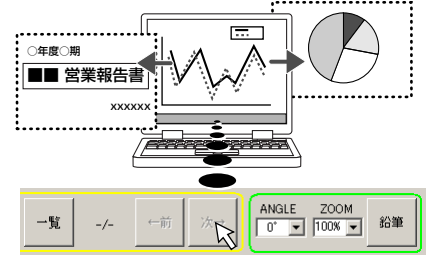


こんなとき……

会議中の投写資料に書き加える、向きを変える、拡大/縮小する場合：“ステップ2”の“取り込みデータの加工”参照

スライドショーとして使用する場合：

- 1) [資料] → [フォルダ] → [フォルダの参照] から対象フォルダを選択し、一括登録します。最初の資料が投写されます。
- 2) [次→] をクリックすることにより、ページが順に切り替わります。



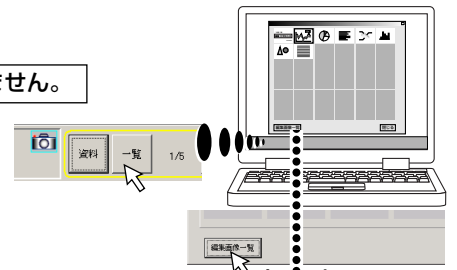
ステップ4 プレゼンテーションの終了

●保存資料の確認と不要資料の削除

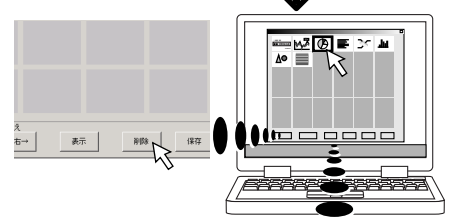
一覧より表示した資料は編集画像として残ります。

ご注意：一覧表示中はメニューバーのボタンは動作しません。

- 1 [一覧] ボタンをクリックし、取込画像一覧画面の[編集画像一覧] ボタンをクリックする。
編集画像一覧画面を表示します。



- 2 不要な資料を削除するときは、不要資料をクリックし、[削除] ボタンをクリックする。
編集画像一覧で表示している資料が保存操作で保存されます。



- 3 [閉じる] ボタンをクリックして一覧表示を閉じる。

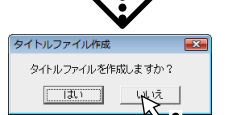


●編集資料を保存する(データセーブ機能)

(詳細な保存方法については、取扱説明書を参照願います。
SDメモリーカードに保存した画像はiP-40で再生することができます。)

- 1 [保存] ボタンをクリックする。

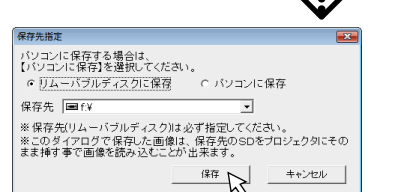
タイトルファイル作成確認画面を表示します。
(ここでは「いいえ」をクリックした前提で記載します)



- 2 保存先を指定する。

SDメモリーカードに保存するかパソコンに保存するか選択します。
(ここではSDメモリーカードに保存する場合を記載します。)

SDメモリーカードに保存する為に、コンボボックスをクリックしてSDメモリーカードがセットされているドライブを選択します。



- 3 [保存] ボタンをクリックする。

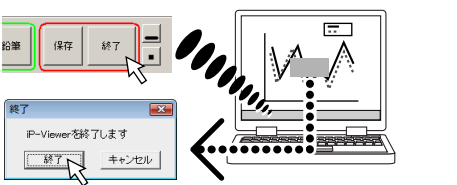
保存を開始し、[保存先指定] 画面が閉じます。
保存できない場合は、保存先を選び直してください。
一度保存すると保存先を変更しない限り、同じフォルダに上書きされます。

これで保存が終了しました。

●終了する

- [終了] ボタンをクリックする。

終了確認画面を表示します。
確認画面の[終了] ボタンをクリックするとiP Viewerを終了します。



プロジェクトとパソコンの接続を外すときは、パソコン側でUSBデバイスとの切断操作を行ってください。

- 1 デスクトップ画面のタスクバー(右下)にある[切断アイコン]をクリックする。

①ドライブの選択表示から[USB大容量記憶装置 デバイス-ドライブ]を選択します。

②[停止] をクリックします。

③[OK] をクリックします。

ご使用のOSによっては表示が異なります。



- 2 “このデバイスはコンピュータから安全に取り外すことができます。”の表示が出たら安全に取り外すことができます。

